

第106号

発行：議会改革等に関する調査特別委員会
編集：うらそえ市議会だより編集委員会
〒901-2501
沖縄県浦添市安波茶1-1-1
TEL(098)851-5057
FAX(098)877-4826

うらそえ市議会だより



第176回定例会の様子

第176回 定例会の概要 及び経過

第176回定例会は、2月23日招集、3月24日閉会の31日間の会期で開かれました。

初日は、市長の平成28年度施政方針の後、平成28年度当初予算、平成27年度一般会計・特別会計（国保・区画整理・下水道・後期高齢者医療）の各補正予算、条例議案など計34件の議案について提案理由が説明されました。その後、追加日程として議員提出議案第1号及び第2号が上程され、説明聴取後、全会一致で原案可決しました。また、29日には議案第38号が追加上程されました。

29日から始まった一般質問では、25人の議員が福祉、教育、西海岸開発等市政全般に及ぶ行政課題について活発な議論が展開されました。

3月7日からは市長提出議案の審議に入り、平成27年度一般会計特別会計（国保・区画整理・下水道・後期高齢者医療）補正予算を全会一致で原案のとおり可決し、議案第36号を同意しました。また、平成28年度一般会計予算を12人の委員で構成する一般会計予算審査特別委員会へ付託しました。

た。その他の議案については本会議で質疑を行った後、各常任委員会に付託しました。その後、選挙管理委員及び補充員の選挙が行われ、8人の委員が当選しました。

24日の最終日は、冒頭で議員提出議案第3号及び第4号が追加日程として上程され、説明聴取後、全会一致で原案可決しました。その後各委員会へ付託した議案、陳情について、各委員長からの報告、質疑、討論、採決を行い、その結果、議案第4号から第10号、議案第16号から第31号及び第38号を原案可決、議案第32号から第35号及び第37号を可決または同意しました。また陳情2件を採択しました。最後に各常任委員会からの陳情の閉会中継続審査の申し出を承認し、第176回定例会を閉会しました。

3月定例会の一般質問の概要は、3ページから10ページに掲載しています。

3月定例会審議日程

2月	16日(火)	第176回定例会告示
	19日(金)	議会運営委員会
	23日(火)	議会運営委員会 開会
3月	1日(火)	施政方針、議案第4号、第37号上程（提案説明）
	2日(水)	議員提出議案第1号及び第2号追加日程（説明聴取・表決）
	3日(木)	全会一致（議案研究）
	4日(金)	議案第38号追加日程（提案説明）
	7日(月)	議案第11号、第15号、第36号（質疑・表決）
	8日(火)	議案第4号（質疑・特別委員会付託）
	9日(水)	議案第5号、第10号、第16号、第35号、第37号、第38号（質疑・所管委員会付託）
	10日(木)	選挙管理委員及び補充員の選挙
	10日(木)	平成28年度一般会計予算審査特別委員会の設置及び委員の選任
	10日(木)	議会運営委員会（休憩中）
	10日(木)	総務委員会、福祉委員会
	10日(木)	休会
	10日(木)	総務委員会、文教委員会
	10日(木)	建設委員会
	10日(木)	休会
	10日(木)	一般会計予算審査特別委員会
	10日(木)	休会
	10日(木)	議会事務整理日
	10日(木)	議会運営委員会
	10日(木)	本会議
	10日(木)	議員提出議案第3号及び第4号追加日程
	10日(木)	（説明聴取・表決）
	10日(木)	議案第4号、第10号、議案第16号、第35号、第37号、第38号（委員長報告・表決）
	10日(木)	陳情上程（委員長報告・表決）
	10日(木)	常任委員会の行政調査派遣申し出
	10日(木)	閉会中継続審査の申し出
	10日(木)	閉会

3月定例会の 主な 議案概要

平成28年度予算を可決

一般会計予算額
473億200万円

3月定例会に上程された平成28年度一般会計予算は対前年度比、7・1%の増（31億1700万円増）であります。前年度と比較し増加した主な要因として、沖縄都市モノレール事業の本格化に伴う各関連事業、浦添市統合型防災情報システム構築事業、特定教育・保育施設運営事業、小学校管理事業の増額などがありました。また、主な新規事業として、浦添市牧港補給地区返還跡地先行取得事業、

業、屋富祖地区学習等供用施設建設事業、子ども貧困緊急対策事業、学校給食費補助金交付事業を計上しています。

この平成28年度浦添市一般会計予算は、付託した一般会計予算審査特別委員会において、実質8日間にわたって審査を行い、採決の結果、予算審査特別委員会においては賛成多数で原案のとおり可決しました。

3月24日の本会議最終日において、予算審査特別委員会委員長報告後、質疑、討論、採決を行いました。採決の結果、賛成多数で委員長報告のとおり原案可決しました。

その他の特別会計予算（5件）及び水道事業会計予算については、付託した各常任委員会の委員長報告後、原案のとおり可決しました。

一般会計と5特別会計の総額は、760億7303万円となっており、各々の当初予算額は次のとおりです。

平成28年度 一般会計予算審査特別委員会

3月10日から22日までの日程で平成28年度浦添市一般会計予算審査特別委員会を開催しました。

【平成28年度一般会計予算審査特別委員会委員】

委員長 下地 秀男	副委員長 与那原 良明
委員 宮里 弘和	委員 浦崎 猛
委員 比嘉 武宏	委員 比嘉 讓治
委員 下地 恵典	委員 銘 莉良二
委員 仲里 勝憲	委員 護得久 朝文
委員 西 銘 健	委員 又 吉 健太郎

平成28年度 各会計当初予算額

一般会計	473億200万円
国民健康保険特別会計	169億9,781万3千円
土地区画整理事業特別会計	22億6,711万2千円
公共下水道事業特別会計	20億2,714万6千円
介護保険特別会計	65億9,175万7千円
後期高齢者医療特別会計	8億8,720万2千円
水道事業会計	
収益的収入	26億1,462万4千円
収益的支出	25億6,851万3千円
資本的収入	4,666万5千円
資本的支出	5億4,614万5千円

一般質問

3月定例会の一般質問につきましては、紙面の都合上、主な内容を要約して掲載しております。

なお、詳しい内容は会議録をご覧ください。また、議会ホームページでも会議録検索システムをご覧ください。

※各議員の原稿枠内にあるQRコードにつきましては、掲載された一般質問を行った際の録画映像へアクセスするためのものです。スマートフォン・タブレット端末等で視聴ができますので、ごらんください。

選挙管理委員及び 補充員の決定

選挙管理委員及び補充員に、左記の8人が当選しました。

☆選挙管理委員	王 寄 哲克氏
久 場 兼政氏	仲 村 勉氏
上 原 秦氏	☆補充員
垣 花 健氏	宮 城 洋一氏
平 識 善英氏	安 和 良昭氏

選挙管理委員及び補充員当選証書付与式



又吉 栄



- キンザー内有害物質（PCB、DDT）の調査について
- 公園に健康遊具を設置することについて
- 放置空き家対策について



←録画映像はこちらから

議員 本市の対応について伺う。

企画部長 本市といたしましては、市民の生命、安全及び生活環境を守る立場から、市民の不安を解消するために、基地内及び基地周辺の水質土壌調査など、必要な調査分析を国において早期に実施することを要請し返還前の早期立ち入りに必要な調査等ができるよう引き続き県や基地を抱える県内市町村と連携し、国へ要請したい。

議員 健康遊具設置について。

都市建設部長 本市においても高齢者が楽しく健康づくりができる健康遊具のニーズは増えていくものと認識しております。本市では新たな公園計画を策定する際は、ワークショップを重ねる等、地域の皆様の多様なニーズの把握に努めます。

議員 近年の公園整備につきましては、通常の遊具に加えて、健康遊具の設置も行っています。

議員 近年適切な管理が行われてない空き屋等が防災、衛生、景観等の地域住民への生活環境に深刻な影響を及ぼすことが社会問題となり、平成27年5月に空き屋対策の推進に関する特別措置法が施行されました。市民が相談しやすいように窓口一本化することなどを踏まえ、関係部局と連携を図り、適切かつ円滑な実施に向け協議を重ねていきます。

都市建設部長 近年適切な管理が行われてない空き屋等が防災、衛生、景観等の地域住民への生活環境に深刻な影響を及ぼすことが社会問題となり、平成27年5月に空き屋対策の推進に関する特別措置法が施行されました。市民が相談しやすいように窓口一本化することなどを踏まえ、関係部局と連携を図り、適切かつ円滑な実施に向け協議を重ねていきます。

議員 近年の公園整備につきましては、通常の遊具に加えて、健康遊具の設置も行っています。

比嘉讓治



- 地区内の公園整備について
- 港川崎原自治会の県道港川道路へのアクセスについて
- カーミージーでのアーサ採りにについて
- 浦添市西海岸開発について



←録画映像はこちらから

議員 港川サンハイツ公園入口階段が急勾配で高齢者が利用しにくい。改善できないか。牧港緑地公園多目的広場の外灯整備について。

市長 現在のバリアフリー規格に適合しないため改良の必要性を認識しており、早めに公園維持補修工事により改修したい。公園内の外灯は次年度で整備を予定している。

議員 港川崎原地区からの県道港川道路へのアクセスについて聞きたい。

都市建設部長 県道港川道路は道路構造令に基づき中央分離帯が設置されるため右折が出来ない。崎原地区から臨港道路、北道路、港川線への出入りを可能にするため、市道牧港港川線側にも取りつけ道路を設置し、右折可能な構造にしていく計画である。

議員 港川小学校の体験活動について教育長の見解を聞きたい。またアーサの安全性について人体への影響はないか、聞きたい。

議員 港川小学校の体験活動について教育長の見解を聞きたい。またアーサの安全性について人体への影響はないか、聞きたい。

教育長 子ども達にとつて、ふる里の海での体験、地元の人との交流は生涯忘れ得ぬものであり、地域を見つめ世界に視野を広げ、地域のために尽力する人材の育成につながる大切な体験と考えている。

議員 港川崎原地区からの県道港川道路へのアクセスについて聞きたい。

議員 介護保険法に基づき高齢者等が自宅に手すりやスロープを設置する際に発生する費用を、一旦立替え払いをしなければいけないので立替えでなく受領委任払い制度を導入することを求める。

健康部長 住宅改修費支給サービスの状況として20万円を上限に一旦金額を負担し、後日、市役所窓口で申請後、保険給付分を支払う償還払い方式となっている。金城議員より質問があった介護保険法に基づく住宅改修費の受領委任払いの導入については、経済的負担の軽減や身体機能に適した住環境の整備を図る観点から、早期実施に向け鋭意取り組んでいく。

議員 待機児童解消の取組について伺う。

議員 認可外保育園への支援について

議員 母子・父子等ひとり親世帯の支援について

議員 認可外保育園への支援について伺う。

福祉部長 認可外保育園の行事費の基準日について平成25年に基準日を5月1日から10月1日の園児が多い日へ変更し、平成28年予算において行事費を1人あたり4千円から5千円へ増額の予定で予算計上した。

議員 母子父子等ひとり親世帯への支援について効果的な支援が必要と思う。

福祉部長 子育てと生活支援について、児童扶養手当が平成28年8月分から、第2子加算額、第3子以降加算額について同額が予定されている。

金城泰邦



- 住宅改修費用の受領委任払い制度の導入について
- 待機児童解消の取組について
- 認可外保育園への支援について
- 母子・父子等ひとり親世帯の支援について



←録画映像はこちらから

上江洲徹也



- 小売業支援について
- うらそえ織成果について
- 手話言語条例制定について
- 待機児童ゼロの取り組みについて
- 学童支援について
- 屋富祖ワークショップについて

←録画映像は
こちらから

議員 浦添市の小規模小売業支援について伺う。

市民部長 中小企業振興条例に小規模企業も加えた形での条例内容に変更し、支援策に鋭意努力する。

議員 東西の大型店開店前調査や対策について伺う。

市民部長 集客効果期待。商店街活性化を図る上で、商店街などのパンフレット配布、官民一体となった地域商店街の魅力向上を図りたい。公共交通の動線も取り組み、基礎調査は検討していく。商業振興ビジョン策定を鋭意努力していく。

議員 うらそえ織市場調査の成果を伺う。

市民部長 商品開発ではデザインナー等のコラボ商品、蝶ネクタイなどの作成や求めやすい価格を実現できるように力を入れている。

議員 浦添市の手話言語条例制定の取り組みについて。

福祉部長 沖縄県が制定する条例内容を踏まえ、先進地の例などを見ながら、今後、調査研究をしていく。

議員 待機児童ゼロまでの取り組みを伺う。

福祉部長 定員25年度2747人、28年度見込み3234人、約500名の定員増を行い、28年度本園の創設5施設、賃貸型分園が1施設、既存保育所の増築1施設を計画、できる限り前倒しを図り、一日も早い待機児童解消に向けて、強力に取り組む。

議員 屋富祖通り地区住民ワークショップについて。

都市建設部長 27年度3回開催し、一定の成果が得られた。28年度も夏頃から開始し、屋富祖まちづくり協議会の立ち上げや今後事業化を見据えた合意形成も踏まえ、地域住民の皆様とともに取り組んでいく。

比嘉克政



- 浦添市におけるこどもの貧困について
- 浦添市の生活保護世帯と生活保護費の現状について
- 過去5年間の生活保護世帯の推移。
- 過去5年間の生活保護費の推移。

←録画映像は
こちらから

議員 浦添市におけるこどもの貧困について伺う。

市長 現在日本のこどもの貧困率が上昇している中、浦添市は県民所得が全国最下位、母子世帯の出現率全国一位となっていることからこどもの貧困率が全国平均の倍近い29.9%と高い値を示していることが県の調査で明らかになりました。同調査における本市のこどもの貧困率につきましては現在県に照会しているとろでございます。今後その実態の把握につとめてまいります。

議員 浦添市の生活保護世帯と生活保護費の現状について過去5年間の生活保護世帯の推移と過去5年間の生活保護費の推移について。

福祉部長 過去5年間の生活保護世帯の推移につきましては、平成22年度は12

86世帯、平成23年度は1397世帯、平成24年度は1542世帯、平成25年度は1627世帯、平成26年度は1734世帯となっており、過去5年間で448世帯の増となっております。

続きまして過去5年間の生活保護費の推移につきましては平成22年度は29億827万5743円、平成23年度は33億1132万8753円、平成24年度は35億584万8834円、平成25年度は36億6639万9878円、平成26年度は38億8539万3292円となっており、過去5年間で9億7711万7549円増となっております。

松下美智子



- 子どもの貧困問題について
- 就学援助制度の適正活用について
- 小中学校における日本語教育支援について
- 市民テニスコートの改修及び新市民テニスコートの建設について

←録画映像は
こちらから

議員 子どもの貧困問題について伺う。

福祉部長 次年度から小学校区各1名の貧困対策支援員の配置を予定、現状を把握し支援に努める。

議員 就学援助制度の適正活用について伺う。

指導部長 5年前と比較すると準要保護認定者数が小学校で110人の増、中学校で123人の増となっている。

議員 あらゆる方が手助けをして適正に受けられるようご尽力をお願いしたい。

議員 小中学校における日本語教育支援について伺う。

指導部長 次年度、支援員1人増の4人の配置を予定。巡回しながら支援を行う。日本語教室が港川小学校に設置されることになり担当教諭が常在する。担当教諭と支援員4人の連携により、手厚い支援を行える。

議員 次年度より待望の日

本語教室と加配教諭が港川小学校に実現できますこと、市として支援員も3人から4人体制にしていきたい、感謝し期待しています。

議員 市民テニスコートの改修、新建設について伺う。

教育部長 クレーコート面におけるラインテープの盛り上がり等の修繕は、先日その工事を完了。借地であるため、オムニコートへの大規模な改修は大変厳しいと認識している。新建設に

関し、今後調査検討を進め、関係部署と調整したい。

議員 既存の港川の市民テニスコートの全面改修が厳しい現状であれば、なおさら新しいコートの建設に着手すべきではないか。要請書にあるとおり、県大会が実施できるオムニコート10面の建設を早い時期に実現

ができるよう具体的な検討を是非お願いしたい。

浦崎 猛



○浦添市の情報教育について ○浦添市民体育館屋根の雨漏り補修について

←録画映像は
こちらから

議員 ICTを活用した研究事業が浦添小学校で公開。

検証事業は5年生の理科の教科で、タブレット端末10台と電子黒板をロイロノートで連携し、教師と児童が双方向での資料のやり取りや全体での比較検討を行うもので、4人グループで児童たちはiPadを自由自在に使い実験を行い、ICTを活用しての一斉指導、子供たちが互いに教え合い、実験結果を発表している授業風景に感銘を受けた。浦添市情報教育推進計画の取り組みについて伺う。

指導部長 浦添市では平成15年度より情報教育の推進と充実及び教育情報の有効な活用を図ることを目的に、浦添市情報教育推進計画を策定している。さらに平成24年度より浦添市教育情報化推進計画を策定し、現在4年目となっている。また、

平成18年度から各関係課、学校関係者と連携し、組織的に推進することを目的に教育長を委員長とする情報教育推進委員会を設置し、浦添市の情報教育の方向性と幼児、児童生徒の情報活用能力育成に係る具体的方策等について協議している。

議員 浦添市民体育館屋根の雨漏り補修について。

教育部長 浦添市民体育館は建設から29年が経過しているため、経年劣化が顕著に見受けられ、屋根からの雨漏り等が確認されている。関係部署職員や民間事業所と合同調査を実施した。調査結果は、雨漏り箇所の細部まで把握できず、原因特定には至っていない。しかしながら利用者の安心、安全な環境整備を早急に図る必要があるため、雨漏りの可能性のある箇所から速やかに修繕をしていきたい。

仲里邦彦



○パークゴルフ場の整備について ○てだこウォークの児童生徒の参加について ○子どもの貧困問題の対策について ○西海岸開発における浦添素案の推進

←録画映像は
こちらから

議員 軽スポーツの普及推進は高齢化社会に必要な施設であり介護予防にも有効。整備計画を伺う。

都市建設部長 パークゴルフ場の整備計画を進めるに当たり浦添カルチャーパーク及び前田公園に整備を想定している。

議員 てだこウォークの学校単位の参加による効果と今後の対応について。

教育部長 運動習慣のない児童生徒には参加しやすいプログラムを工夫してさまざまな形で意欲を高め運動やスポーツにかかわる場面を創出していくことが肝要。浦添小学校と港川小学校がモデル校として参加。楽しみながら完歩、体力作り、地域の歴史探索や自然にふれる良い機会。学校参加の更なる推進を考えている。

議員 子どもの貧困について、現状と今後の対応。

市長 ていーだこども食堂の取り組みを居場所づくりの浦添モデルとして支援。食べる・学ぶ・つなぐを三本柱に地域としっかり手を取り合い子供たちのために全力で取り組んでいく。

福祉部長 小学校区に各1人の貧困対策支援員を配置し現状を把握し子どもが安心して過ごせる居場所づくりを行う。

議員 那覇港管理組合から出された浦添素案にビーチの真上にある大きな軍港についてどう思うか伺う。

西海岸開発局長 浦添素案はサンセットを活かしたリゾート地の形成、大型クルーズ船のバースの構築、マリーナの整備であり、この位置にある軍港を第三ステージを含む海域に移動すれば、西海岸のビーチとコースタルリゾートもすべて活かされる見解である。

下地秀男



○公共施設のLED化について ○待機児童解消へ前田公務員宿舍跡地を活用することについて

←録画映像は
こちらから

議員 公共施設のLED化をどのように考えているのかお聞かせ下さい。

総務部長 LED導入による効果につきましては、市庁舎行政棟と議会棟の照明約6000台のうち、使用頻度の高い約7割の4000台をLEDに切りかえた場合で試算しますと、年間で電気料金が約650万円、二酸化炭素換算料で約231トン削減され、エネルギー消費量が約11%の削減効果が得られる結果となっております。また、一般的にLED導入の費用対効果として、導入3年から5年で導入費用が回収できるとされており、地球温暖化対策と財政的な効果の両面から期待できるものと考えております。本市公共施設の照明LED化につきましては、財政状況等を勘案し、また導入効果も検証した上で計

画的に取り組んでまいりたいと思います。

議員 待機児童解消へ前田公務員宿舍跡地を活用することについて伺います。

福祉部長 本市の待機児童解消に向けて新たな認可保育所の創設は重要な施設の一つであります。そのためには土地の確保は不可欠であり、本市といたしましては国による処分が予定されており、前田公務員宿舍跡地については、ぜひとも保育所用地として活用したいと考え、国と協議を重ねて参りました。また、この件につきましては、去る12月議会定例会の一般質問において下地秀男議員からもご質問、ご提言があったところでです。

比嘉武宏



- 北方領土返還運動の本市の取り組み
- 世界のウチナーンチュ大会に向けて
- 浦添民間大使創設の取り組み
- 西海岸開発浦添案とふ頭計画の現状
- 牧港補給地区返還跡地先行取得



録画映像はこちらから

議員 北方領土返還運動全

国民強調月間、本市の小中学校の取り組みを伺う。

指導部長 北方領土に関する学習は、小中学校社会科の授業で学習され、歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島が我が国の領土であり、返還を求め、我が国に誇りと愛情を持てる教育を学習指導要領解説で学習する。

議員 世界のウチナーンチュ大会本市の取り組みについて伺う。

企画部長 世界の県人系とのネットワークを拡充強化し文化、経済、教育の交流を図り、浦添視察、歓迎の夕べを持つ。研修生の受け入れ、フォローアップで、世代交流の懸け橋で相互交流を持続発展させる。

議員 浦添市民間大使設置に向けて取り組むか伺う。

市長 本市と海外、県人系の交流活性化をし、拡大及

び移住先国との交流、友好関係の進展を図り、民間大使創設につなげ取り組む。

議員 西海岸開発浦添素案の状況、浦添ふ頭計画の現状について伺う。

西海岸開発局長 浦添ふ頭地区に関する規模、形状、将来のあり方に検討を重ね、計画の策定には広く市民の意見を聞いた民意である。

議員 市益の最大化を図り浦添西海岸開発キャンペーンザーとの一体的に浦添素案を開発で進めてほしい。

議員 牧港補給地区返還跡地の先行取得について伺う。

企画部長 土地の返還に先行して公共施設を確保する。

一、跡地利用の円滑な実施が可能。二、民間の土地売買に及び地権者数の増加を抑制する。三、土地を売却した場合、譲渡所得5000万円の特別控除の対処となる。

銘荊良二



- 本市の循環型エネルギーの実現について
- 天然ガスの埋蔵量について
- 公共施設マネジメントについて
- 本市の職員のプロジェクトについて



録画映像はこちらから

議員 本市の循環型エネルギーの実現について伺う。

都市建設部長 浦西駅周辺の分散型エネルギーのインフラについて、分散型エネルギー施設としては天然ガスを燃料にする、ガスコージェネレーションという発電機を使って発電。あと、再生可能エネルギー（太陽光発電）で発電。地産地消型の施設を整備していく。

議員 天然ガスの埋蔵量について伺う。

都市建設部長 埋蔵量については、定量的な把握はしていない。去年、沖縄県が宮古、八重山を含む沖縄本島を含めて天然ガスの調査をした。浦添市にあるジスタスでも出ている。浦西も同じ地層にある。

議員 公共施設マネジメントについて伺う。

総務部長 公共施設等総合管理計画を策定中である。

本計画の対象となる本市の保有施設は138施設。延べ面積で比較した人口1人当りの施設総量は全国平均の3分の2。県平均の約5分の3と比較的少ない状況。公共施設マネジメントを進める上でプラス要因。

議員 本市の職員のプロジェクトについて伺う。

総務部長 公共施設等総合管理計画の策定段階から組織横断的な委員会を設置し、各施設の管理、整備計画や財政計画との整合性、将来的な組織、機能等の方向性についても共通認識が持てるよう取り組む。

当山勝利



- 子どもの貧困対策について
- 水道水の有機フッ化物の影響について
- 浦添市のものづくりについて
- 浦添市の認知症対策について
- 小中学校の理科備品の整備について



録画映像はこちらから

議員 浦添市として取り組まれる子どもへの貧困対策について伺う。

市長 支援員を11小学校区に各1人配置予定。公民館や児童センター等を活用し、地域との関わりを構築する。全庁横断的に取り組み、効果的な支援を実施する予定。

議員 市民に水道水を供給している北谷浄水場から有機フッ化物が検出された。発生源と市への影響について伺う。

水道局長 発生源は嘉手納基地の可能性が高い。北谷浄水場の水は概ねパイプラインの西側に供給しており、全体の約6割を占める。今後とも安全でおいしい水の供給を求める。

議員 ものづくり基本計画の進捗状況について伺う。

市民部長 浦添ひと・まちしごと創生戦略において6次産業化の推進と商品開発

発、販路拡大に向けた取り組みについて示している。民間事業所に対する交付金の活用も考えている。

議員 浦添市の認知症対策は喫緊の課題である。徘徊SOSの実現について伺う。

健康部長 徘徊による事故を未然に防止するために、浦添市認知症高齢者等見守りSOSネットワークの構築に向けた取り組みを進めている。認知症の方を日頃から見守るネットワークの構築を進める。

議員 小中学校の理科備品の整備については平成19年3月議会から取り上げて来た。整備状況について伺う。

教育部長 一般教材備品とは別枠で予算を確保。平成21、25年度には国の大型補正予算を活用した。平成24年度と比べ小学校で10ポイント、中学校で5ポイント

現有率が増加した。

宮里弘和



○てだこ浦西駅周辺のまちづくり、モノレール整備状況

○公募後の参入事業者の現状と展望

○子どもの貧困対策、小・中学校の就学援助事業

○所得制限付き給食費半額



←録画映像はこちらから

議員 モノレールの整備状況を伺う。

市長 平成31年春の開業を目指し、事業を進めている。

事業費ベースで平成27年度末、約34%の進捗で、用地補償が平成27年度末で契約完了予定。工事は平成28年度に支柱を完了し、平成29年度には軌道桁架設をおおむね完了予定。

議員 公募後の参入事業者の現状と今後の展望を伺う。

都市建設部長 民間事業者9社に優先交渉権が付与されている。今後、事業者の参入可否を決めていくと区画整理組合側から確認している。

議員 借地や土地売却の希望の面積は足りているか。また、数値の公表できるか。

都市建設部長 今回は答えがでない状況と組合から伺っている。

議員 就学援助事業について

指導部長 給食費、学用品費、修学旅行費等の援助で、住民税が非課税世帯は就学援助の対象です。経済的に就学困難な世帯への援助が届くよう調査研究したい。

議員 就学援助事業を知らない親への周知を伺う。

指導部長 教師へ就学援助制度の研修等や福祉部局との連携強化を図りたい。

議員 所得制限付きの給食費半額について伺う。

企画部長 社会問題となっている子どもの貧困解消と、その連鎖を断ち切る必要から、所得制限枠を設けた上で給食費半額事業を実施する。

議員 子供たちが置かれている経済的な状況を改善する意味で賛成です。制度の運用では、子供たちのいじめの対象にはいけない。

指導部長 配慮し取り組む。

西銘 健



○5保育園の創設を計画

○幼稚園給食の実施準備

○臨時職員の処遇を改善し、本務で採用すること

○税金無駄遣い、自然破壊の埋立と軍港建設をやめて、教育、福祉の拡充を



←録画映像はこちらから

議員 保育園を増設して、希望するどの子も保育園に入ることができるようにすること。

福祉部長 5園の創設など、できるだけ前倒しをし、強力に取り組む。

議員 幼稚園給食の実施を。準備を進める。

指導部長 平成28年度は、2園の設計。

議員 他の園はいつまでに。

指導部長 早期実現に取り組み。

議員 教育を充実させるために、正規職員を増やし、非正規職員の処遇を改善すること。

指導部長 配置については関係部署と調整をしていく。臨時職員の処遇改善についても、賃金の値上げを調整している。

議員 学校給食を無償に。

企画部長 所得制限180万円として、学校給食の半額無償化を平成28年度から実施する。

當間清春



○小規模保育事業の進捗状況について

○道路行政について

○南第二地区土地区画整理事業について



←録画映像はこちらから

議員 認可外保育園が認可できなかった理由。

福祉部長 当該施設が昭和34年建築された外人住宅のため、建築確認書の認可基準が満たされていないため。

議員 何故、年末に認可を断ったのか。

福祉部長 待機児童解消のために1つでも多くの小規模保育事業所のスタートを目指していた。しかし最終的には認可できなかったというところで、率直に申し訳なく思っている。今後、その時期等についても見直しを考えていく。

議員 今後、要請書建築確認書も一緒に添付して、検討してください。

議員 市道内間経塚線のコートヴィレッジ浦添付近街路樹について。

都市建設部長 昼間は木陰をつくり、歩行者に快適な歩行空間となっているが夜

間の状況を確認したところ道路照明5基設置されているが、街路樹に明かりが閉ざされているので今年度早い時期に街路樹剪定を行う。

議員 経塚線ファミリーマート大名店前の信号設置について。

市民部長 今後も引き続き浦添署へ要請していきたい。

議員 住宅先行地区完了後の第二地区の進捗について。

都市建設部長 面的整備率を効率的に上げて行く。小湾川沿いの低いほうから整備を進めていきたい、雨水の処理の接続が必要であり低いところから住宅先行地域の周りから進めていきたい。

亀川雅裕



- 当山小分離新設校について
- 浦添産業祭り開催について
- 西海岸開発について

←録画映像は
こちらから**議員** これからのスケジュールはどうなっているのか。**教育部長** 現在、児童数の中長期的な将来推計が必要となつてきますので、その作業を進めているところである。そして、その推計作業が4月頃には固まってくるとの事でありますので、推計が整い次第、秋頃を目安に教育委員会としての取りまとめを行います。**議員** 産業まつりについて、昨年の3月定例会後の取り組みに進展が見られておりませんが、今後の対応について伺います。**市民部長** 商工会議所とはこれまで何度か話し合いをもっておりませんが結論に至っておりません。時間を要していることにつきましては、申し訳なく思っております。今後は、市としての考え方やスケジュールを整理し、商工会議所などと

連携を図りながら協議を重ねてまいります。

議員 西海岸開発の今後の展開について。**市長** 平成26年8月に、作成した浦添市素案を提案し、那覇港管理組合を含む関連団体と調整会議を重ねているところである。この協議の中では、浦添市が求める那覇港湾施設代替施設の移動を含めた議論の展開が見えないことから、那覇港管理組合に対し、沖縄防衛局の協議参加や代替施設を含めたスケジュールの提示を要望しているところである。

伊礼悠記



- 認可保育所の増設実現へ。
- 子どもの貧困対策を。
- こども医療費の窓口負担ゼロ実現へ。
- 学校給食費の無償化、幼稚園給食の実現を。
- ひとり親世帯の支援拡充を。

←録画映像は
こちらから**議員** どの子も希望する保育所に入所できるよう認可保育所の増設を中心待機児童解消を。**福祉部長** 平成28年度、本園の創設5、分園1、増築1施設を計画している。**議員** こども医療費の病院窓口負担ゼロの実現を。**福祉部長** 病院窓口で自己負担を支払う必要のない貸付制度は、平成28年10月受診分より実施予定。**議員** 学校給食費の無償化を実現することについて。**企画部長** 所得制限付きで学校給食の半額無償化を実施していく。**議員** 幼稚園給食の導入を実現することについて。**指導部長** 実施に向けて平成28年度から準備を進める。
議員 ひとり親世帯への支援、医療費助成の自動償還払いを実現すること。**福祉部長** 実現に向け研究

を重ね取り組む。

議員 子どもの貧困対策、浦添市における実態調査を行うことについて。**福祉部長** データを検証、支援員が地域の実情把握し効果的な施策に取り組む。**議員** 子ども食堂の支援、拡充について。**福祉部長** 団体の皆様を支援しつつ、新たな居場所づくりの準備に取り組む。**議員** 認可外保育所への支援を拡充すること。**福祉部長** 今年度より多子世帯の負担軽減策を開始。行事費を増額計上している。**議員** 学童クラブ、発達障がい児童生徒へ支援拡充を。給付制奨学金創設を。前田地域の市道13号線の整備、歩道の設置と区画整理の早期実現を。西海岸の埋め立て計画中止、軍港受け入れの撤回を強く求める。

護得久朝文



- 教育行政について
- 待機児童解消の取り組みについて
- 勢理客シーサー通りの交差点について
- 浦添総合病院の誘致について

←録画映像は
こちらから**議員** 遊び型不登校児童生徒の居場所作りについて。**指導部長** 非行傾向の不登校児童生徒を支援する自立支援室を設置し、さまざまな体験活動を通して支援の充実に努める。**議員** 自閉症、発達障がいのある児童生徒への支援を。**指導部長** 特別支援教育校内委員会において年間4回以上支援を要する子供たちの情報交換や、支援についての共通理解が図られ特別支援教育コーディネーターの専任化は調整を図り検討。**議員** 神森小学校の教室、プールの増改築について。**教育部長** 児童生徒の教育環境のため教室増築の実現に努めた。プールについて教育委員会としても改築の必要性を十分認識早期改築計画が策定できるよう調整**議員** 勢理客シーサー通り交差点に信号機早期設置を。**市民部長** 平成16年12月に信号機設置の要請書の提出があるが設置に至っていない。今後も引き続き浦添警察へ要請していく。**議員** 特定地域型保育事業取り組みと成果について。**福祉部長** 第三次で親子プランに基づく認可の計画である8ヶ所の達成ができる見込みとなった。**議員** 浦添総合病院の誘致について。**企画部長** 第四次浦添市総合計画に基づく災害に強いまちづくりの実現のために活用できないか検討している。5つの県立病院とともに民間病院として初めて地域災害拠点病院として追加された。このような状況の変化等も踏まえ、本市の方針を検討したい。

又吉健太郎



○西海岸開発について
○待機児童の状況と保育士の確保状況について
○浦西駅周辺開発におけるまちづくり法人について



録画映像はこちらから

議員 西海岸開発は浦添市素案と既定計画のどちらの方が早く事業再開できるか。

副市長 港湾改訂に要する期間は約20カ月です。

議員 那覇港管理組合議会での答弁では既定計画が早いと認めているが事実か。

副市長 その通りです。

議員 保育士の確保と待機児童の状況について伺う。

福祉部長 一部の園ではまだ募集中で不承諾は600人となっている。

議員 現時点で何名不足か。

福祉部長 18人募集中。

議員 非常勤保育士の待遇は他市と比較してどうか。

福祉部長 現在日給8060円となっており、一部の市と比較して低い状況です。

議員 他市よりも低いと浦添市が選ばれない可能性がある。

福祉部長 他市に合わせてしっかりと対応する。

議員 不承諾が600名で4月1日現在で待機児童ゼロになる可能性はあるか。

福祉部長 一日も早い待機児童解消に引き続き取り組む。

議員 まちづくり法人の出資法人の形態について伺う。

都市建設部長 株式会社で設立は平成28年7月頃を予定している。

議員 事業計画と人事案が揃った上で出資の決断をするのではないか。

都市建設部長 次年度に会社設立準備、定款の作成・認証、登記などを行うための委託事業を行う予定です。

議員 会社の形態等の委託事業が終わり、明らかになつた上で議会に出資依頼をするのが筋ではないか。庁議ではどうやって出資を決定したのか。

都市建設部長 庁議で使った資料については議会に提供できるように調整する。

仲程淳也



○地域包括支援センターの目的と役割について



録画映像はこちらから

議員 平成27年7月より、市直営の地域包括センターが外部委託され、今現在4か所の包括支援センターで地域高齢者住民の相談支援を行っているという。

それに伴って、直営包括が封鎖されたわけですが、地域包括支援センターの目的と役割についてお答え下さい。

健康部長 高齢者等が住み慣れた地域で安心して過ごす事が出来るよう、包括的、継続的な支援を行う地域包括ケアを推進する事が目的で地域包括支援センター構築は、市町村の責務ですが、その構築に向けて中心的役割を果たすことが求められている。

議員 職員の職種はどうなっているか、また地域包括ケアシステムの構築はどのようにすすめるのか。

健康部長 保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員と認知症地域支援推進員を配置している。地域のネットワークを構築し、個別サービスのコーディネートを行う地域の中核機関として活動している。介護サービス事業者、医療機関、民生員、その他関係者との連携に努め地域包括ケアシステム構築を進めている。

議員 社士、主任介護支援専門員と認知症地域支援推進員を配置している。地域のネットワークを構築し、個別サービスのコーディネートを行う地域の中核機関として活動している。介護サービス事業者、医療機関、民生員、その他関係者との連携に努め地域包括ケアシステム構築を進めている。

議員 これから超高齢化に向かう中で包括支援センターの役割は中心となる大きな役割を担っていると感じている、地域の住民が身近なところで相談に行けるよう、また地域住民包括センター、関係団体などと連携を取りながら、包括ケアの構築体制の整備をよろしく願います。

仲里勝憲



○屋富祖通り整備の進捗について
○浦西駅の分散型エネルギー事業について
○モノレール延伸事業費の増加について
○キャンプ・キンザー内の国有地の無償譲渡について



録画映像はこちらから

議員 屋富祖通り地域の整備の進捗について伺う。

都市建設部長 平成28年度にも引き続きワークショップ等を開催し、次のステップとなる基本計画策定に向け、作業に取り組む予定である。地域関係者を主とした屋富祖通り周辺まちづくり協議会の立ち上げに対する地元のご理解とご協力を得ながら、地域の皆様とともに取り組んでまいりたい。

議員 モノレール延伸におけるだこ浦西駅周辺地域の分散型エネルギー事業の業績予測やストレステストの結果を伺う。

都市建設部長 本地区のエネルギー変動リスクは沖縄電力が享受するリスクと同程度であり、低いものと推定された。また、IRRも約6%以上を見込んでおり、他府県の類似プロジェクトのIRRより優れ、健全経

議員 モノレール延伸におけるだこ浦西駅周辺地域の分散型エネルギー事業の業績予測やストレステストの結果を伺う。

議員 営が見込まれる。

議員 モノレール浦添延伸事業において、どのくらい事業費が増加しているのか伺う。

都市建設部長 総事業費は350億円を想定しているが、現在の試算では約521億円と、当初より約171億円増加する見込みである。

議員 キャンプ・キンザーの返還後の区画整理事業の減歩率を下げるためにも、キャンプ・キンザー内にある全体の10%の国有地を浦添市に無償譲渡していただく交渉も必要だと思うが、市当局の考えを伺う。

企画部長 10%の国有地は減歩率に大きく影響するので、皆さんの力も借りてこの10%の土地を無償譲渡いただき、相対的な公共減歩率を下げ、合算減歩率を下げっていく方向で、事業の実施に向けて頑張っていく。

真栄城玄誠



○勢理客線に松並木を
○内間9号線改良事業につ
いて

○街路神森線について
○分散型エネルギーの導入を
○環境汚染について
○再任用制度について
○ヒマワリを通じた交流

録画映像は
こちらから

議員 内間の歴史的景観を
復元した松並木をつくるこ
とができないかを伺う。

都市建設部長 台風や病氣
等で枯死した時点で松がい
いのか、選定をやって行き
たい。

議員 内間9号線は地域住
民の生活道路や通学路とし
て利用されておりますが、
前の橋の改修について伺う。

都市建設部長 橋梁補修工
事を行うことは何っている。

議員 ぜひ那覇市と歩調を
合わせて、改修工事をして
頂きたい。

議員 登下校時の通学路に
なっており、非常に危険を
伴う地域である。

都市建設部長 早期に全面
供用開始が出来るよう鋭意
取り組んでいきたい。

議員 浦西駅周辺に分散型
エネルギーを導入すること
について伺う。

都市建設部長 まちづくり

法人を立ち上げ、本事業を
実施していきたい。

議員 キャンプ・キンザー
周辺から検出された有害物
質について、松本市長は去
る12月定例議会で、市民の
不安解消のために底質調査
や生体調査を実施して、環
境状況の把握に努めて行く
所存であると答弁したが、
その後の調査結果を伺う。

市民部長 その後、新たな
調査は実施していない。

議員 私は、ハブの体内か
ら有害物質が検出されてい
ることは、ハブの餌となる
カエル等の生態系が汚染さ
れてハブの体内に濃縮して
いると考える。是非、調査
範囲を広げて生態系にどう
いう影響を与えているの
か、早急なる調査を要望す
る。

下地恵典



○西海岸開発について
浦添市にとって西海岸開
発の原点とは何か。
西海岸開発のこれまでの
経緯について

録画映像は
こちらから

議員 平成25年から今日ま
で那覇港湾計画改定に向け
た那覇港長期構想委員会
は、浦添ふ頭に対し、時代
の変化に気づき、その事を
積極的に取り入れた主体的
な提案は何ら示されること
なく、西海岸一帯の浦添ふ
頭の整備計画とスケジュー
ルさえ示されず時代錯誤的
な従来型の計画を進めよう
としているのではないかと
しているのではないかと、
浦添市にとって西海岸開発
の原点とは何か。西海岸開
発のこれまでの経緯につい
て伺う。

西海岸開発局長 第四次総
合計画、平成23年度から平
成32年度においては、物流
関連産業の再配置用地を確
保するとともに、良好な自
然環境を生かした都市近郊
型海浜リゾートの拠点形成
と牧港補給地区跡地利用計
画との一体的利用を明確に
打ち出しました。西海岸開

発の主な経緯は、昭和63年
の那覇港港湾計画改訂に伴
い、取り扱い貨物量の増大
や、レクリエーション、ス
ポーツ、国際化への対応等
の時代的要請により、当該
港湾計画を大きく拡大し、
物流ゾーンやコースタルリ
ゾート地区を追加した。平
成14年4月に那覇港管理組
合を設立し、平成15年3月
現在の港湾計画で定める浦
添ふ頭地区を国際流通港湾
機能とコースタルリゾート
地区を位置づけた那覇港港
湾計画の改訂が行われた。

平成17年には那覇港港湾計
画に基づく、浦添ふ頭第一
ステージ事業の環境影響評
価調査に着手し、埋め立て
免許出願を経て、平成22年
12月に第一ステージの埋め
立てが竣工した。

又吉謙一



○スーパー・コミュニケー
ショナルスクールにつ
いて
○水道水の安全について
○市民体育館の改修及び今
後の公共施設の改修改築
計画について

録画映像は
こちらから

議員 国際性豊かな若い人
材が育っていきます。浦添
市にとっては有意義なこと
だと思う。一括交付金につ
いては平成33年まで使わな
い手はないと思うが。

教育部長 総括をさせてい
ただき今後継続的に取り組
む事ができるか検討してい
きたいと思う。

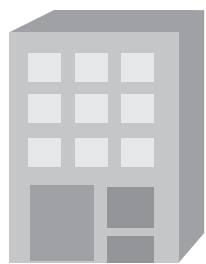
議員 本市の水道水は大き
夫でしょうか。

水道部長 安全でおいしく
飲める水の供給に努めてき
た。そのような中、有機フッ
素化合物PFOSが北谷浄
水場より検出されたが発
表。県企業局、防衛局、安
全に不安があるレベルでは
ないとの説明があった。

議員 15年前塩素で死なな
い、体に害を与える虫が天
願川から発見。比謝川で小
魚が原因不明で死んだり近
くには、嘉手納基地もある
し、何が流れるか分からな
い。市民に安全、安心して
飲めるような水を供給して
ください。

議員 市民体育館の改修、
雨漏り、クーラー、エレベ
ーターの取付、移動観客席
に耐えられる床の強度化。ハ
ンドボール王国を宣言して
いるが、全国レベルの競技
会が十分にできていない。又
東京オリンピックへ向け県
では、事前合宿としてドイ
ツのチームへ沖縄県へと要
請、早めに改修できるよう
やっていただきたい。

市長 多種多様にわたる要
望事項があり、その中から
優先順位を決め、慎重に議
論を進めながら、検討して
いきたい。



意見書



第176回定例会において議員提出議案第1号北朝鮮の核実験及び弾道ミサイル発射に強く抗議し断固たる対処等を求める意見書、議員提出議案第2号北朝鮮の核実験及び弾道ミサイル発射に対する抗議決議、議員提出議案第3号米軍人による準強姦容疑事件に関する意見書、議員提出議案第4号米軍人による準強姦容疑事件に関する抗議決議が提出され、採決の結果、議員提出議案第1号、第2号、第3号及び、第4号を全会一致で原案のとおり可決しました。

**議員提出議案
4件を可決**

米軍人による準強姦容疑事件に関する意見書

去る3月13日、那覇市内のビジネスホテルで、米軍キャンプ・シュワブ所属の海軍1等水兵が、沖縄に観光に訪れていた女性宿泊客に性的暴行を加えたとして、準強姦容疑で逮捕される事件が発生した。

多くの観光客が宿泊し、安全・安心であるべきホテルで発生した今回の卑劣な事件は、女性の人権を蹂躪し、平穏な観光旅行を脅かすもので、市民と県民、観光客と関連業界に大きな衝撃と不安を与えている。

本市議会は、米軍による事件・事故が発生するたびに抗議を行ってきたものの、綱紀肅正などの取り組みの実効性は全く見えておらず、米軍は、今回の事件により市民、県民及び観光客が一層恐怖にさらされている現実を受け止め、抜本的な方策を講じ、具体的かつ実効性のある事件・事故防止策を実施すべきである。

よって、本市議会は、米海軍兵による許しがたい準強姦容疑事件に関し、市民、県民、観光客の人権と生命、財産を守る立場から、激しい怒りをこめて厳重に抗議するとともに、関係機関に対して、下記事項の徹底、実現を強く求める。

記

- 1 被疑者に対する厳正な対応と、被害者への完全な補償を行うこと
- 2 米軍人の教育徹底と綱紀肅正を図るとともに、市民と県民、観光客が安心できる実効性のある抜本的な再発防止策を講じること
- 3 「日米地位協定」の抜本的な見直しを図ること
- 4 在沖米軍基地の整理・縮小と米兵の削減を促進すること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年3月24日

沖縄県浦添市議会

宛先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、外務大臣、防衛大臣、沖縄及び北方対策担当大臣

※議員提出議案第4号の抗議決議についての宛先は以下の通り
駐日米国大使、在日米軍司令官、在日米海軍司令官、在沖米海軍艦隊活動司令官、在沖米国総領事、在日米軍沖縄地域調整官

北朝鮮の核実験及び弾道ミサイル発射に強く抗議し断固たる対処等を求める意見書

北朝鮮は、我が国を含む国際社会が強く自制を求めている中、平成28年1月6日に核実験を強行し、また、去る2月7日午前9時31分に人工衛星と称する弾道ミサイル発射実験を行った。

周辺諸国の中止要請を無視して強行されたこのような行為は、一連の国連安保理決議や六者会合共同声明、日朝平壤宣言に明らかに違反するものであり、我が国や国際社会に重大な不安や恐怖を与える行為であって、断じて容認できない。

北朝鮮は、これまでも核実験、ミサイル発射などを繰り返しており、今回の暴挙は、国際的な核不拡散体制に対する重大な挑戦であるとともに、核兵器による惨禍を唯一経験し、核廃絶を強く願う国民の思いを踏みにじるものである。

また、弾道ミサイルは沖縄県上空域を通過し、平穏な生活を営む市民・県民を不安と恐怖に陥れた。一步間違えば、県土や航空機、船舶を直撃し、大惨事を起こしかねず、平和を希求する市民・県民として、断じて許せるものではない。

よって、本市議会は政府に対し、市民の生命・財産を守る立場から、国際社会との連携を強化し、北朝鮮による核実験及び弾道ミサイル発射問題の早急な解決に向けて、これまで以上に強力な外交を展開するよう求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年2月23日

沖縄県浦添市議会

宛先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣、沖縄及び北方対策担当大臣

※議員提出議案第2号の抗議決議についての宛先は以下の通り
朝鮮民主主義人民共和国 国防委員会第一委員長

議会テレビ放送

定例会（2月または3月・6月・9月・12月に開催）本会議の様子は、本会議開催日に沖縄ケーブルネットワーク（OCN）において収録放送を行っております。

放送時間：定例会本会議開催日の午後6時から収録放送終了まで

放送チャンネル：地デジ092ch（OCNチャンネル4）

第176回浦添市議会定例会議決結果一覧

(平成28年3月定例会)

事 件 番 号	事 件 名	議決結果
議案第4号	平成28年度浦添市一般会計予算	原案可決
議案第5号	平成28年度浦添市国民健康保険特別会計予算	原案可決
議案第6号	平成28年度浦添都市計画土地区画整理事業特別会計予算	原案可決
議案第7号	平成28年度浦添市公共下水道事業特別会計予算	原案可決
議案第8号	平成28年度浦添市介護保険特別会計予算	原案可決
議案第9号	平成28年度浦添市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第10号	平成28年度浦添市水道事業会計予算	原案可決
議案第11号	平成27年度浦添市一般会計補正予算(第5号)	原案可決
議案第12号	平成27年度浦添市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第13号	平成27年度浦添都市計画土地区画整理事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第14号	平成27年度浦添市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第15号	平成27年度浦添市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第16号	浦添市行政不服審査会条例	原案可決
議案第17号	浦添市不服申立てに係る書面等の写し等の交付手数料条例	原案可決
議案第18号	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	原案可決
議案第19号	浦添市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第20号	浦添市職員の退職管理に関する条例	原案可決
議案第21号	地方公務員法及び地方独立行政法人法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	原案可決
議案第22号	浦添市附属機関設置に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第23号	浦添市ふるさとてだこの都市応援基金条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第24号	浦添市特定駐留軍用地内土地取得事業基金条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第25号	浦添市雇用対策協議会の設置に関する条例の一部を改正する条例	原案可決

事 件 番 号	事 件 名	議決結果
議案第26号	浦添市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第27号	指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	原案可決
議案第28号	浦添市建築審査会条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第29号	浦添市立体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第30号	浦添市てだこホールの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第31号	浦添市火災予防条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第32号	あらたに生じた土地の確認について	可 決
議案第33号	町の区域の変更について	可 決
議案第34号	損害賠償額を定め和解することについて	可 決
議案第35号	沖縄都市モノレールインフラ部整備事業に係る委託契約の締結について	同 意
議案第36号	沖縄都市モノレールインフラ部整備事業に係る委託契約の締結変更について	同 意
議案第37号	浦添市道の認定について	可 決
議案第38号	浦添市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
選挙第1号	選挙管理委員及び補充員の選挙	玉寄哲克 外 7 名
議員提出 議案第1号	北朝鮮の核実験及び弾道ミサイル発射に強く抗議し断固たる対処等を求める意見書	原案可決
議員提出 議案第2号	北朝鮮の核実験及び弾道ミサイル発射に対する抗議決議	原案可決
議員提出 議案第3号	米軍人による準強姦容疑事件に関する意見書	原案可決
議員提出 議案第4号	米軍人による準強姦容疑事件に関する抗議決議	原案可決
平成27年 陳情第21号	「労働安全衛生委員会」の設置を進め、学校現場の労働環境の改善を求める陳情	採 択
陳情第4号	県内に本社のある電設資材販売業者の優先活用をお願い(陳情)	採 択

議 会 日 誌

《2月》

2日 議会運営委員会

4日 第185回臨時会

19日 議会運営委員会

23日 第176回定例会(3月24日まで)

議会運営委員会

全員協議会

うらそえ市議会だより編集委員会

29日 一般質問(3月4日まで)

議会運営委員会

《3月》

4日 議会運営委員会

7日 議会運営委員会

一般会計予算審査特別委員会

8日 総務委員会・福祉委員会

9日 総務委員会・文教委員会

建設委員会

10日 一般会計予算審査特別委員会(22日まで)

《4月》

12日 議会改革等に関する調査特別委員会

14日 沖縄県市議会議長会事務局長会

21日 うらそえ市議会だより編集委員会

26日 福祉委員会

27日 第91回九州市議会議長会定期総会

《5月》

11日 うらそえ市議会だより編集委員会

13日 議会改革等に関する調査特別委員会

16日 建設委員会(福岡県久留米市・長崎県佐世保市)

27日 市議会事務局職員研修会

30日 九州市議会議長会第2回理事会

31日 第92回全国市議会議長会定期総会

※平成28年5月13日現在の日程を掲載しております。